

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	訪問介護論A(Home Help Service A)		授業コード	E040701
担当教員名	野中 義光、佐保 嘉代子、今給黎 晃、山本 裕子、河村 裕次、小桐 修、佐藤 加奈子、佐藤 ハツ子		科目ナンバリングコード	E20913
配当学年	2	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	履修希望者は必ず、受講動機レポートを提出してください。			
受講心得	毎回必ず出席すること。欠席した場合は、補講を受ける必要があります。			
教科書	介護職員初任者研修用テキスト			
参考文献及び指定図書				
関連科目	訪問介護論B, 基本介護技術, 介護実習			

授業の目的	介護職として働くうえで、求められる知識・態度・技術の習得を行う
授業の概要	介護職員初任者研修のカリキュラムに沿い、高齢者・障がい者に関する知識の習得を行う

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> 本講義の内容、注意事項等について説明します。	配布資料
<b>第2週：多様なサービスの理解</b> ①介護保険サービス(居宅、施設)について、②介護保険外サービスについて学修します。	配布資料
<b>第3週：介護職の仕事内容や働く現場の理解</b> ①居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について、②居宅、施設の実際のサービス提供現場を具体的にイメージする、③ケアプランの位置付けに始まるサービス提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について学修します。	配布資料
<b>第4週：人権と尊厳を支える介護(1)～(3)</b> ①人権と尊厳の保持について、②介護分野におけるICFについて、③QOLについて学修します。	配布資料
<b>第5週：人権と尊厳を支える介護(4)～(6)</b> ①人権と尊厳の保持について、②介護分野におけるICFについて、③QOLについて学修します。	配布資料
<b>第6週：自立に向けた支援</b> ①自立支援について、②介護予防の考え方について学修します。	配布資料

<b>第7週：介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理</b>		
①介護環境の特徴について、②介護の専門性について、③介護に関わる職種について、④介護職に求められる職業倫理について、⑤プライバシーの保護・尊重について学修します。		配布資料
<b>第8週：介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全</b>		
①介護における安全の確保について、②事故予防、安全対策について、③感染対策について、④介護職の心身の健康管理について		配布資料
<b>第9週：介護保険制度</b>		
①介護保険制度創設の背景及び、目的、動向について、②介護保険制度の仕組みについて、③介護保険制度を支える財源、組織・団体の機能と役割について学修します。		配布資料
<b>第10週：障害者自立支援制度およびその他制度</b>		
①障害者福祉制度の理念について、②障害者自立支援制度の仕組みについて、③個人の権利を守る制度概要について学修します。		配布資料
<b>第11週：医療との連携とリハビリテーション</b>		
①医行為と介護、訪問看護について、②施設における看護と介護の役割・連携について、③リハビリテーションの理念について学修します。		配布資料
<b>第12週：介護におけるコミュニケーション</b>		
①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について、②コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについて、③利用者・家族とのコミュニケーションの実際について、④利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際について学修します。		配布資料
<b>第13週：介護におけるチームのコミュニケーション</b>		
①記録における情報の共有化について、②報告・連絡・相談の留意点について、③コミュニケーションを促す環境について学修します。		配布資料
<b>第14週：老化に伴うこころとからだの変化と日常</b>		
①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について、老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について学修します。		配布資料
<b>第15週：高齢者と健康</b>		
①高齢者の疾病と生活上の留意点について、②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について学修します。		配布資料
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考	講師の都合により、講義内容が変更になる場合があります。	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考え、相手の心身機能に合わせた配慮ができる。
<b>【知識・理解】</b>	介護職に求められる専門性について理解している。 介護保険制度・障害者自立支援制度を担う一員として、介護保険制度の理念を理解している。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	介護職が働く現場や仕事の内容について説明することができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		25点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		25点		
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を楽しみ、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	講義終了後のレポート等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	